



■ はじめに

■ 新任挨拶

委員長 下川 滝美

みなさんこんにちは。

今年度から委員長になります下川です。津川さんご苦労様でした。

3年間津川さんの下で副委員長をやらせて頂き、やっと女性委員会についてわかりかけたところです。たよりない委員長ですが副委員長の飯沼さんや宇佐美さん・長瀬さんそして皆さんに支えていただき進めて行きたいと思っています。どうぞよろしく願い致します。

簡単に自己紹介をさせていただきますね。

私の仕事は主に、高齢者や障がい者にかかわる住環境整備や一般に言われているバリアフリー・ユニバーサルデザインと言われる用具や福祉用具についてです。

岐阜県ではその窓口が岐阜県福祉総合相談センターとなっております。そこでの相談業務や住宅改修の設計などに携っています。最近は高齢化による住宅改修だけでなく障がい児や若年の方の相談も多くなってきました。

岐阜県全域を担当していますのでいつでもお気軽に声をかけてください。

また情報も発信していきたいと思っています。2年間宜しくお願い致します。

☆:☆°.*:°☆。.:*.:☆:☆°.*:°:☆°.*:°☆。.:

■ 今後の予定・お知らせ

◆東海北陸女性建築士連絡協議会

日時:6月28日(土)

会場: 愛知県

◆全国女性建築士連絡協議会

日時:7月18日(金)・19日(土)

会場:東京 建築会館ホールほか

テーマ:地域と共生する住環境づくり～住みかえに学ぶ

■ 退任挨拶

津川 文江

河内さんから委員長を引き継ぎ 三年が経ちました。何もわからず、戸惑うことばかりでしたが 何とか女性委員長を務めさせていただきました。皆様の暖かい励ましに支えられ、楽しく活動できましたうれしくっております。

この三年間の体験によって企画運営等 多少は出来るようになり 自分自身、成長したのではないかと思います。日頃 自分に投資の気持ちでいましたが、本当にいい機会を与えていただきました。

今後も、委員会活動を続けることにより 暖かいお付き合いが出来ることを、願っております。そして、委員会活動をする事で、もっと自己研鑽し いろいろな情報交換をして人生の情報交換をしていきたいと思っております。

皆様、三年間本当に有難うございました。次期委員長 下川さんを囲んで これからも皆で意義のある委員会活動をしたいと思います。



■ 今回の記事

■ はじめに

■ 今後の予定・お知らせ

■ 東海北陸ブロック会女性建築士協議会 平成 19 度定例会議(後期富山会議)報告

■ 文化講演会報告

■ 建物使い心地調査について《告知》

■ ほっと・コーヒーブレイク

■ 編集後記

■ 同封書類

■ 年間スケジュール

■ 建物使い心地調査表

■ 東海北陸ブロック会女性建築士協議会 平成19年度定例会議(後期富山会議)報告

建築士会東海北陸ブロック会 女性建築士連絡協議会
平成19年度定例会議(後期富山会議)
開催日 平成20年2月23日(土)～24日(日)
開催場所 富山県民共生センター サンフォルテ
大会次第

23日 開会式

ブロック事業発表 福井県
ブロック事業委員会会議
全体会議
懇親会

24日 フォーラム

ミニコンサート(胡弓奏者 若林美智子氏)
講演(富山大学教授 伊東順二氏)
閉会式

■ 19年度 東海北陸ブロック会 岐阜大会開催

津川 文江

2月23日(土)運営委員会が富山市サンフォルテにて開催されました。

まず、自己紹介に続いて、各県の活動報告を発表しました。今回、20周年記念事業として 石川県はお茶会、愛知県は講演会を行ったそうです。

次に審議案件として青年建築士協議会の方では、平成21年前期会議を取りやめ東海と北陸ブロックで別々で事業を行うことになるそうです。これについて、女性建築士協議会の方ではどのようにするかという事について 意見を出し合いました。

東海北陸を分割することは、他の地域の情報交換が出来なくなるとのことで、女性の方は東海北陸を分けることなく 前期は、青年とは別に 後期は一緒に 会議を開催するという方向になりました。

平成20年事業計画案として 下記のようになっております。

前期定例会議 平成20年6月28日(土)

中部電力(株)名古屋支店

後期定例会議 平成21年 日時未定

静岡県 ブロック事業発表(三重県)

静岡県には、女性委員会がないので 運営は

石川県 議事録作成は 愛知県

全国女性建築士連絡協議会(東京大会)

平成20年7月18日(金)～19日(土) 建築会館

全国大会 平成20年10月25日(土)

徳島県 アステイ とくしま

■ ブロック事業発表報告

長瀬 八州余

平成20年2月23日(土) 富山県民共生センター サンフォルテにて 福井県がブロック事業の発表を行いました。

テーマは「バリアフリー・カフェマップ」ということでした。

構成は三部構成で第一部は「経緯」、第二部は「物件説明」、第三部は「まとめと今後について」です。

第一部 経緯

女性委員会の参加率が悪く、どうしたらみんなが参加しやすく、女性委員会の活動に興味を持ってくれるのかということを考えました。

福井県では10年前に「高齢者住宅指針」が作成されていますが、それを見直すということがありました。その作業をしているなかで、公的は施設については整備がなされているが、身障者が戸外に出て少し休みたいと思った時にどこで休むことができるのかわからないという声が寄せられました。

そこで、カフェとスイーツのお店について、「人に優しいお店」という目線で実態調査をして、マップにすることにしました。厳密な基準を設けるのではなく、建築士の目から見て、「人に優しいお店」という視点で調査シートを作成し、ポイントが5点以上でマップに載せるという基準にしました。入り口が階段の物件は最初から除外をしました。

女性委員会だけでは、難しいので青年委員会との共同事業ということで活動を始めました。

福井県内を4地域に分けて、個人でもグループでもいので調査を開始しました。目標は100店舗と想定していましたが、「これこれこういう趣旨でマップに載せたいのですが」とうかがうと、マップに載せた後のケアが心配だということで辞退されるお店が多く、今の時点では60店舗ほどの予定です。

3月までには、一般の人が見てもわかりやすいようにマップの手直しをして、県内の社協に設置する話は決まっています。今後は、県内のJR駅、病院、美術館等に設置できるようにしていきたいと思っています。

という説明でした。



第二部 物件説明

青年委員会から二名の方が参加されて、写真を見ながら説明をしてくださいました。

第三部 まとめと今後に向けて

各店舗に格差があり、まとめることが大変難しかったです。

段差、ドアの幅は 90%以上の物件はクリアしていました。

店主との聞き取り調査も行ったのですが、そこで「心のバリアフリー」ということを聞きました。お客さんをどのようにもてなすのかを常に考えて、おもてなしの心を忘れない。建物のバリアフリーも大事ですが、一番大事なのはそのお店の姿勢だと思いました。

青年委員会との共同事業でしたので、青年委員会との交流も深まりました。それとともに今まで、活動をしていなかった人も少しずつ活動に参加してくれるようになりました。

マップの完成まであと少しですので、もう少し頑張らなくてはと思っています。
ということでした。



懇親会 風景

■ ブロック事業委員会会議報告

長瀬 八州余

平成20年2月23日(土) 富山県民共生センター サンフォルテにて

1) 平成 19 年度 富山会議での福井県発表におけるブロック事業について

- 青年委員会との初めての共同事業になったので、青年委員会との交流が今まで以上に深まったと思われました。
- 障害者を家族に持つ者としては、このようなマップがあると、知らない所でもトイレ等の心配をすることなく外出することが出来て非常に良い事業だと思いました。他県でも作ってみてはどうかと思いました。

2) 平成 20 年度 後期静岡会議における三重県の発表内容について

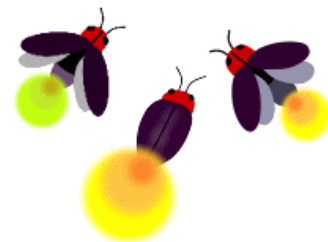
ブロック事業の発表ということで「減災」をテーマに行う予定でしたが、テーマが大きく、災害前に行えることについて考えるのか、災害後について考えるのかとか、ポイントがまだ絞れていません。

そして今回、前期後期のブロック会議のあり方が青年委員会では変わってきて、後期静岡会議では分科会形式で行うということで、女性委員会はそのうちのひとつを受け持つほしいとの要望がありました。

三重県としてはテーマを白紙に戻して、青年と一度話し合っとうするのかを決めていきたいと思っています。

3) その他

青年委員会のブロック会議のあり方が、変化してきているので、女性委員会もそれに合わせて変わらざるをえない状態になってきている。それにつれて、ブロック事業委員会も変わらざるをえないのではないかという意見がでました。



■ 東海北陸ブロック会 平成十九年度後期富山会議
2日目

下川 滝美

2月24日朝はゆっくりとした時間からスタートでした。宿泊ホテルの隣が会場というのはとても便利でした。ゆっくりめの朝食をした後9時50分からフォーラムがはじまりました。

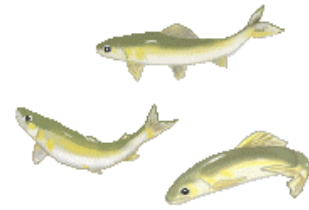
第1部 ヒーリングコンサートということで胡弓 若林美智子さんの演奏を聴きました。笙との胡弓との演奏で時代をタイムスリップしたような静かな気持ちになりました。まさにこれがヒーリング効果なのでしょうか？胡弓の奏でる風のぼんの演奏におもわずうっとり聞き入ってしまいました。



胡弓 演奏風景



講演会



第2部 講演会「ものを作る」講師は富山大学芸術文化学部教授の伊東順二氏の講演でした。心に響いた言葉は、もの作りとは・・・「街を作る」「人を作る」「モノを作る」「心を作る」

美術評論家である伊東氏は、アートとは「人間のことを考える」「将来のことを考える」「理想のことを考える」と言われました。時間があつという間に経つほど楽しいお話でした。もの作りをする私達の大切なことはやはり「人を思いやる・未来を思いやる心」だということを改めて思いました。

下の写真は道路に噴き出す水です。道路や通路は凍結しないように、雪が積もらないようにと常時水が出ていました。



■ 第27回建築文化講演会に参加して

宇佐美 泉

11月30日、未来会館において出江 寛氏の講演会に参加しました。「沈黙と建築」というテーマで、どんなお話を聞くことができるのか楽しみに行きました。

まず最初に、全ての物は「形・色・素材」から成り立っていて、その中の素材について話されました。『素材とは、古くなくても美しく、モダンで、芸術に成り得る物、生命力がある物を言うが、最近の建築は素材と材料の違いを曖昧にして使っているように思う。一つ一つの素材を吟味し、物の本質を見極めて建築物を造っていかねばいけぬ』と話されました。

又、『現代住宅(特にプレハブ住宅)は、どんどんドライになっていく様に思う。そうゆう建物に住む人間、特に子供達もどんどんドライになっていき、そしてどんどん情緒性が欠けていく様だ』と危惧されていました。私もそれは同感です。子供達の成長過程において住環境はとても大事で、その中でも住まいは大きな影響を与えます。又、家族にとっても毎日食事をし、寝て、明日の活力を生む大切な場所です。住宅は人間形成に大きな影響を与える事を、常に頭に置きながら設計をしていかなければと再認識しました。



最後に、『日本人の持っている侘び・寂の心(正直で慎ましく物静か・又はそのような暮らしを楽しむ)を忘れずに沈黙という美学を持って日本の風土に合った建築を造っていきましょう』と話されました。日本人の奥深くにある心……私たちが日常の煩雑さにかまけて忘れかけている心をもう一度見つめましようと言われている様でした。

先生はとても博学で、70歳代とは思えない程情熱的に建築を語られる姿にとっても感動しました。そして私も、もっとがんばらなくてはと思いました。

■ 建物使い心地調査について《告知》

下川 滝美

しばらく活動を休止していた建物調査ですが、そろそろむずむずしてきて活動再開です。

前回は一般の方や建築士が対象となり視点が広がったのですが、今回は建築士から見た「建物使い心地調査」としたいと思っています。また調査対象をトイレ・子育て支援にしました。

みなさんの手元に調査表が届いたと思います。ちょっと開いて見てください。

トイレの機能・使い勝手・使い心地に分けて配慮されていたら○を記入し、評価をしてコメントを書くという形式にしました。裏面にはレイアウト図が書けるようにしました。

まず個人で、お近くの商業施設など利用した時プレ調査をしていただき、ご意見をいただけたらと思います。調査表も調査をしながら改良していけたらと考えています。

もう一つの目的は、東海北陸ブロック会議などで、他の県に岐阜県を紹介するということもあります。

「おいでんさい岐阜の名所と名建築一覧」も同時進行で作成しています。

岐阜を圏域毎に分けて名所などを見学しながら、最近出来た大型ショッピングモールなどの建物調査をしそしてその地域の美味しいものを頂く。そんな見学会&調査の計画を今企画しているところです。

岐阜県を知ること。使い心地の良い建物ってどんな建物だろうか。そんなことを知る一年にしたいと思っています。



■ ほっとコーヒーブレイク



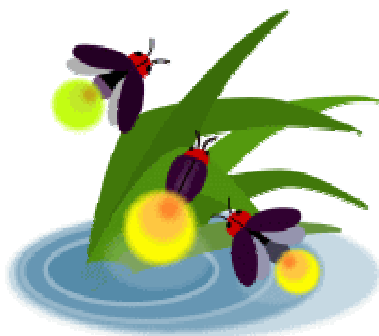
■ 緑道

河内 美代子

緑道と言う名前を聞いただけでも魅力的な空間を想像しませんか？実際に東京都世田谷区にある緑道は思わず散歩したくなる憩いの空間の連続です。こんな空間が家の近くにあったら、毎日散歩して「メタボリックシンドロームなんて関係ねー！」と・・・夫に毎朝、早起きしてもらって歩かせたい(我夫をご存知の方はここできつと納得されるでしょう(*^_^*))。

右の写真の緑道は、昭和44年以降暗渠化されていた中小河川の上部を有効利用する方法として作られたものだそうです。せせらぎには魚が泳ぎ、野鳥も羽を休め都会の中にもこんな空間があるのかと思うほど、心を和ませてくれる空間で、歩行者の安全と緊急避難通路の確保などの役目を果たしています。岐阜県各務原市も水と緑の公園都市を目指していますが、この世田谷を視察して参考にされたようです。世田谷の場合は烏山川緑道をはじめ8本の緑道が昭和54年度に完成した後、さらにいくつかの緑道が造成され、2006年3月現在で16本、面積15haもの緑道が完成しています。

でも考えてみれば、岐阜のような地方では、緑はそもそもあるのだけど、そこに車が入ってきてしまい、かえって安心して歩ける道が少なくなっているのが問題ですね。だからこそ、安心して散歩出来るようなところが必要なのですよね。



小サギかな？



一般道路と交差する部分

■ 編集後記

平成20年度第1号をお届けします。新年度を迎え新委員長の下多くの新しい事業がスタートしました。皆様の協力をお願いして、らくだも内容を盛りだくさんでお手元にお届けしたいと編集担当は心の鉢巻を締めしております。いつものように皆様からの投稿はいつでもお待ちしております。なお、編集参加問い合わせ、ご意見・投稿・新企画などがございましたら、下記へお寄せください。

編集委員

(社)岐阜県建築士会

岐阜市司町1番地 岐阜総合庁舎3階

TEL 058-266-5786 FAX 058-266-6867

<http://homepage2.nifty.com/aba-gifu/>

Eメールアドレス kensi578@juno.ocn.ne.jp

※ 女性委員会担当まで宜しくお願い致します